

空知の観光

空知地域は、札幌圏と旭川圏の間に位置することから、そのいずれからも気軽に訪れることのできる観光圏として、平成26年度には、

1, 165万人の観光客が管内を訪れています。

空知管内を訪れる観光客は、道内客が全体の93%、また、日帰り客が全体の96%を占めています。

空知は、ワイナリーや地元の農産物を使ったファームレストラン、グリーンツーリズムなど、道内有数の農業地帯として、農業との結びつきを強く意識した観光が進められています。

また、かつて日本の近代化を支えた炭鉱関連施設、広大な菜の花畑やひまわり畑などの美しい景観、数多くの温泉施設、こだわりのご当地グルメや、サイクリング、乗馬、カート、グライダー、さらにはSLの運転体験など、ユニークなメニューにも事欠きません。



サイクリング風景

国内有数の醸造用ブドウ畑を抱え、新たなワイナリー・ヴィンヤードが設立されるなど、ワイン産地として知名度が上がっている北海道において、空知は5つのワイナリーと3つのヴィンヤードを擁する注目のエリアです。

ヨーロッパの風景にも似た垣根仕立てのブドウ畑が丘の斜面に広がる様子は心奪われる美しさで、自然と向き合い試行錯誤を重ね造られる良質で個性豊かなワインは、その一本一本に造り手の思いが凝縮しています。



北竜町のひまわり

これら多彩な地域資源のほか、平成26年には、空知管内で撮影された映画が公開され、「空知」の知名度が向上しつつあることから、これらを効果的に活用し、多様化する観光ニーズに対応した地域として、さらに多くの人たちに親しまれていくことが期待されます。

また、訪日外国人宿泊者数も年々増加しており、地域別では、台湾、タイを始めとするアジア地域が全体の99%と、管内外国人宿泊者数のほとんどを占めています。



ワイン醸造用ブドウ畑

